

節分の日に、恵方巻きは食べましたか？「恵方」とは、陰陽道でその年の福德を司る方向のことで、今年も北北西の方角でした。最近では、スマホのアプリで方角を確認できるので便利になりましたね。



祝

## 大正区ボランティア・市民活動センター 開設記念セレモニー

大正区ボランティアビューローから大正区ボランティア・市民活動センターに組織が改編されることになりました。今までのボランティア団体に加えて、新たに市民活動団体やNPOなどにも支援の輪を広げていきます。下記の日程で開設記念セレモニーを行いますので、ぜひご参加ください。

日時 平成29年3月11日（土）午後1時15分～4時（開場は午後1時～）

場所 大正区ふれあい福祉センター2階

内容 ☆オープニングセレモニー（午後1時15分～）

☆開設記念講演会「これからのボランティア・市民活動」（午後1時30分～）  
講師：脇坂 博史（大阪市ボランティア・市民活動センター 副所長）

☆ボランティア団体発表会（午後2時40分～）

☆登録ボランティア事務連絡会（午後3時30分～）

締切 平成29年3月10日（金）

※お申込み・お問い合わせはボランティアビューローまで



### お問い合わせ

大阪市大正区社会福祉協議会 ボランティアビューロー（担当：繪本・会田）

〒551-0013 大阪市大正区小林西 1-14-3

TEL：6555-7575 FAX：6555-0687

# ボランティアグループ訪問

## ◎ 音訳ボランティアサークルじゅげむ

1月23日・26日に当センターのボランティアビューローにて「音訳ボランティアサークルじゅげむ」の活動に立ち会いました。

「じゅげむ」は、区の広報誌「こんにちはは大正」の記事を、視覚障がい者や高齢者の方に音訳するサークルです。1月23日に、記事選考の会議がありました。代表の川上さんが、医療や法律相談、音楽コンサートなど役立ちそうな記事をピックアップして



いきます。電話で聞くことを考慮して、録音時間は概ね10分程度に収めることになっており、記事が多すぎた場合は、どれを残すか悩むこともしばしば。選考が終わると、次は音訳用の原稿の作成に入ります。音にして意味がわかりにくい言葉は、実際に声に出して確認しながら、わかりやすく書き換え、後日、個人ボランティアの方がPC入力して原稿が完成します。1月26日に録音が行われました。原稿を前に、再度、細かい文字の修正が入ります。誰がどの記事を読むかを決めると、いよいよ録音スタート。マイクを前にしても緊張することはなく、一度のミスもなく読み終わりました。録音データは「ハロー大正案内ダイヤル（TEL 0120-930-986）で発信していますので、ぜひご利用ください。

## ◎ ミュージックベルメルヘン

1月31日に、小規模多機能型居宅介護「サンぽっぽ」にて「ミュージックベルメルヘン」の公演にお伺いしました。「メルヘン」は大正区社会福祉協議会が開催した「ミュージックベル講座」を受講した有志が立ち上げたグループで、高齢者施設を中心として、小学校や幼稚園でも活動しています。揃いの白い衣装を身に纏ったメンバーが利用者の前に登場すると、赤いクロスの上にベル



を並べていきます。ベルの本数は全部で140本ほどで、曲ごとに並べ方が変わるので全員が真剣な面持ちです。始まりのベルを合図に、最初の演奏は「人間っていいな」。ミュージックベル特有の余韻の残る音色が、総勢13名の奏者によって次々と重なります。ベルの持ち替えの手順が見るからに複雑ですが、全員が鮮やかな手さばきで、身体全体を使ってベルを振っています。曲目の中には「上を向いて歩こう」や「瀬戸の花嫁」など、利用者と一緒に歌ってもらえる歌謡曲なども入っていました。アンコールの曲が終わった後、思わぬサプライズが！演奏を聴かせてくれたお礼として、利用者全員で「十九の春」を歌われました。メンバーの中には目頭を押さえる方もいて、全員が感激した様子で幕となりました。